PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

63-287020

(43)Date of publication of application: 24.11.1988

(51)Int.Cl.

H01L 21/302

H01L 21/30

(21)Application number : 62-121227

(71)Applicant: HITACHI LTD

(22)Date of filing:

20.05.1987

(72)Inventor: ONO TETSUO

KATO SHIGEO

YAMAGUCHI SUMIO

MIYATA TOSHIMITSU

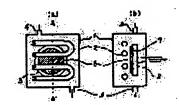
FUNAKOSHI AKIO

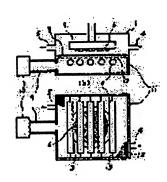
(54) APPARATUS FOR REMOVING RESIST

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent attachment of dust on the surface of a sample due to falling caused by gravity and to obtain the clean sample, by constituting a sample stage so that the surface of a sample is inclined at about 90 degrees or larger to a horizontal plane.

CONSTITUTION: A reaction box 1 of a resist removing apparatus is sealed in a airtight manner. Reaction gas is inputted through a gas feeding port 4 and exhausted through a gas exhaust port 5. The reaction gas is made to be O2, O3, N2O, NO2 or the like. Ultraviolet rays are generated from lamps 2, which are arranged in a metal box 11 in the reaction box 1. A sample 6 is attached to a sample stage 3. A microwave oscillator 10 is coupled to the metal box 11 through a waveguide 9. A small holes 7 are opened in the sample stage





3. The sample 6 is mounted with atmospheric pressure. A rotary mechanism and the like are included in the sample stage 3 so that uniformity is provided. The sample stage 3 is fixed so that the surface of the sample 6 is inclined at about 90 degrees or larger to a horizontal plane. The reaction gas is decomposed with the ultraviolet rays from the lamps 2. The resist of the sample 6 is removed with the exciting atoms of oxygen. The attachment of dust and the like on the surface due to gravity is prevented.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑲日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

◎ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭63-287020

@Int,Cl.⁴				識別記号				庁内整理番号	庁内整理番号			④公開 昭和63年(1988)11月24日		
Н	01	-	21/302 21/30 21/302		3 6 1	l		B-8223-5F R-7376-5F H-8223-5F	審査請求	さ 未請求	発明の	数 1	(全3頁)	
9発9	月のタ	名称	レ	ジスト	除去装	置								
		٠			②特			昭62-121227						
					@出		F	昭62(1987)5月2	10日	•				
②発	明	者	小	野	1	ğ	郎	東京都国分	宇市東恋ケ	窪1丁目	280番地	株式	会社日立製	
						Ì		作所中央研究	:所内					
仓発	明	者	מל	藤	1	Ē	雄	東京都国分	宇市東恋ケ	窪1丁目	280番地	株式	会社日立製	
								作所中央研究						
②発	明	者	山		ħ	屯	男	東京都国分		在1丁目	280番地	株式	会社日立製	
						-		作所中央研究						
⑫発	明	者	宮	田	ŧ	b	光	東京都国分号		窪1丁目	280番地	株式	会社日立製	
								作所中央研究	1所内					
创出	顋	人	株式	大会?	土日立 第	作	所	東京都千代田	3区神田駿	河台4丁	目6番地			
砂代	理	人	护理	世	小州。	朥	男	外1名						
最終頁に続く														

明·細 4

- 1. 発明の名称
 - レジスト除去装置
- 2. 特許請求の範囲
 - 1. 反応室とその内部にある試料台と反応室に酸 薬の励起原子を生じさせる装置から成るレジス ト除去装置において、試料台を試料表面が水平 面から約90°以上傾斜せしめて固定する手段 を設けたことを特徴とするレジスト除去装置。
 - 2. O₃, O₈。 N₂O。 NO₂ を業外線で分解 して酸素励起原子を生じさせる手段を有してな る第1項記載のレジスト除去磁觀。
 - 3. 前記試料台を、試料加工面を下方に向けて固定し得るように構成したことを特徴とする第1項記載のレジスト除去装置。
- 3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本発明は、試料面にほこりが堆積しない構造と したレジスト独去装置に関する。

〔従来の技術〕

半導体製造工程の1つに用済みのレジストを除去する工程がある。この方法として、散業の励起原子でレジストを散化除去するものが知られている。たとえば、ポリメア エンジニアリング アンド サイエンス第12秒,第2号(1872年)第10月(Pelymer Engineering and Science vo 8 1 2, & 2 (1972) p 108) には、オゾンを業外線で分解し、これにより発生する放業の励起原子を用いてレジストを除去する方法が述べられている。これは変品等を使う超式の方法と異なり、変品廃棄物が出ない就式法として注目されている。

【発明が解決しようとする問題点】

半導体製造プロセスは非常にほこりを扱うものである。しかし、上記使来技術ではほこりを防ぐ 方法は考慮されていない。

本発明の目的は、ほこりの影響を少なく抑えた レジスト験去装置を提供することである。

【問題点を解決するための手段】

上記目的は試料を水平から約80。以上傾けて

遊屋することで解決できる.

(作用)

即ち、本発明は試料台を試料表面が水平より約 90°以上傾くように裸成することにより、成力 落下による試料表面へのほこりの堆積を防止した ものである。

(実施例)

以下、本発明の実施例を図により説明する。

第1回はレジスト除去装置主要部の構成図である。第1回(a)は側面図、(b)は(a)のAーA断面図である。反応室1は気密封止されており、ガス供給口4から反応ガスが入れられる。ガスの種類は、O2,Oa,N2O,NO2 などである。ガスは排気口5より排気される。反応室内にはランプ2が設置されている。ランプは精外線を出すもので、たとえば185nm,254nmの波長の光を出す低圧水銀蒸気放電灯である。ランプ点灯回路は図では省略されている。

試料台3は本発明に従がい、試料面がほぼ垂直 になるようについている。試料台3は均一性をよ

第2図は別の実施例で、試料台3は従来とは逆に下方を向いている。この配置はほこりを防ぐには最も良い。また、第2図は紫外線ランプの別の例として、マイクロ波を利用したものを示している。これは、金属第11と金属網12から成る空刷共振器の中に無電極のランプ2を入れて、マイ

くするための回転機構等がついている。 試料 6 はたとえばレジストを独布されたシリコンウエハなどで、試料台 3 には気圧を利用して装着される。 すなわち試料台 8 には小孔 7 が開いており、そこから文空ポンプで排気して試料 6 を台に吸引することで固定する。

上述の如き装置において、たとえばO』を反応 室に流し、ランプに低圧水銀蒸気放電灯を用いた ときのレジスト酸去過程を説明する。O』は彼長 254nmの光により、次式のように分解する。

0 a - 0 a + 0 .

〇・は酸素の過起原子で強い酸化力を持ち、有機物(油、レジスト)をH = 〇 や C 〇 m 等に分解する。以上のようにして本装置ではシリコンウエハ上のレジスト等が除去できる。この過程の原、本装置では従来装置と具なり試料表面が重直を設定しているので、ほこりが煮力なりではよりである。さらにほこりの堆積を少なくすることができる。さらにほこりの増入供給口4の失

クロ被発提器10、導波管8により電力を供給するものである。13はランプ止めである。このランプ点灯方式は、ランプに電極が無いのでランプ 構造が簡単になる利点がある。さらに電極が無い ためにランプ2内にヨウ素などの金属を侵す物質 を封入し、常外線の波長を変えることもできる。 図中8は石英板で、これは無くてもよいが、反応 室内の酸素により金属額等が酸化されるのを防ぐ 目的で入っている。

以上の実施例において、試料6の販着には、試料6の駅をつかんで動かす自動機送器が用いられることがある。この場合、搬送器と試料台6の小孔7を実空に引くポンプを運動させて、試料6をはずすとき、真空吸引を止めるようにすれば良い。

また、レジストを除去するために酸素品起原子を発生する方法は光を使う方法の他にも、放電プラズマにより酸素を励起する方法等各種の変形が可能である。

(発明の効果)

本発明によれば、試料表面へのほこりの堆積を

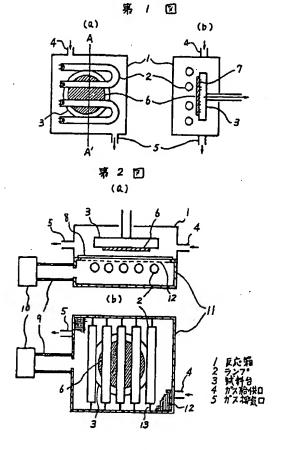
効果的に防ぐことができるので、精浄な試料を提供することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1回。第2回は本発明の一支施例になるレジ 、 スト除去装買の主要構成部の側面図および断面図 である。

1 … 反応額、2 … ランプ、3 … 試料台、4 … ガス 供給口、5 … ガス排気口、6 … 試料、7 … 小孔、 8 … 石英板、8 … 導波管、10 … マイクロ波発級 器、11 … 金属額、12 … 金属網、13 … ランプ 止め。

代理人 井理士 小川朋男



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES
□ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
□ GRAY SCALE DOCUMENTS
□ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
□ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.